



南伊勢町贄浦の最明寺山門下にある津波供養塔。右側の「大乘経」と書かれている碑が、1707年宝永地震津波の供養塔、左側の「供養塔」と書かれている碑が、1854年安政東海地震津波の供養塔。



国道260号から贄浦の最明寺への入口にある津波供養塔の案内板。



宝永地震津波の供養塔の全景(写真右)と、同供養塔の左側面(写真左の右側の部分)及び背面(写真左の左側の部分)。

左側面には、宝永地震の際、浦の家屋が残らず流失し、60名が溺死して亡くなったこと、背面には、津波がここまで達したことと、後世に遺そうとした津波教訓が記されている。



安政東海地震津波の供養塔の全景(写真右)と、同供養塔の左側面(写真左)及び右側面(写真中)。右側面には、安政東海地震の際、3名が溺死して亡くなったこと、後世に遺そうとした津波教訓が記されている。